

本日、ここに令和3年第5回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私はその概要と今の所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に一層のご理解とご協力をお願いする次第であります。

コロナ禍の中、開催が危ぶまれた東京2020（ニーゼロニーゼロ）オリンピック・パラリンピックが開催され、一昨日、パラリンピックが閉幕しました。57年ぶり2度目となる東京大会は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によりオリンピックの歴史上初めて1年延期され、一部の会場を除いて無観客となる異例の大会となりました。

開催の是非を巡る国民の意見も割れたなかでの開催でしたが、オリンピック・パラリンピックに参加された総勢800人を超える日本の選手は、最高のパフォーマンスを発揮し、オリンピックでは金メダル27個、総数でも58個と、ともに史上最多のメダルを、パラリンピックでは史上2番目となる51個のメダルを獲得しました。選手の頑張る姿はコロナの長期化で暗く沈む気持ちを明るくし、国民に勇気と感動を与えていただきました。

出場された全ての選手が思うように練習や試合ができない困難な状況乗り越え、国の代表として一生懸命プレーされたことに心から敬意を表したいと思えます。

一方で、7月以降、新型コロナウイルスは、より感染力の強いインド由来のデルタ株が全国的にまん延し、爆発的に拡大しました。感染者数は各地で過去最高を超える日が続き、全国では1日当たり2万5千人を超え、東京都では必要な医療が提供できない医療崩壊の状況にあると一部で報じられているところです。愛媛県でも8月以降の感染者数の急激な増加を受け、8月11日から再度、警戒レベルが最大の「感染対策期」に引き上げられました。8月20日からは2回目の「まん延防止等重点措置」が適用される深刻な状況となっています。本市では7月以降、6人の感染者が報告されていますが、ここ1か月以上新たな感染者は確認されていません。しかし、デルタ株は非常に感染力が強いため、周辺が危機的な状況になっている中では、いつ誰が感染してもおかしくありません。今後も、市内において感染拡大を防止するため、「うつらないよう自己防衛」「うつさないよう周りに配慮」の感染回避行動を「オール八幡浜」で実践し、市民に感染者が確認された場合でもみんな支え合い、市民が心をつなげてこの危機を乗り越えていきましょう。

このような状況において、デルタ株に対しても重症化を抑える効果があり、現時点で新型コロナウイルス感染症対策の切り札とされる、ワクチン接種を本市においても実施しています。

現在は、12歳以上の全ての年代においてワクチン接種の予約を開始し、ワクチンの供給量に応じて、順次予約枠を公開し、受け付けることとしています。9月6日現在で、接種済みに予約済みを合わせた進捗率は約75%に上っており、予約済みで接種待ちの方についても、10月初旬までには2回目の接種ができる予定です。全国的に2回接種完了者が7割を超える状況になればコロナ感染症も収束に向かっていくのではと期待しているところです。

今年もコロナの影響により多くの行事等が中止、延期となりました。8月28日には市民文化活動センターの1周年イベントとして、本市出身のシンガーソングライターで「やわたはま応援隊」にも就任いただいている井上昌己さんとK a c o（カコ）さん、2人による一夜限りのスペシャル凱旋ライブを開催する予定でしたが、残念ながら12月4日に延期となりました。このライブにつきましては、楽しみにされていた方も多かったのではないかと思います。もうしばらくお待ちください。

また、11月14日には「第8回やわたはま産業まつり」を開催する予定としています。今回は延期していた「第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」のフェスティバルとの同時開催とし、本年5月のアワード審査会におけるマーマレード受賞作品の表彰式などを執り行う予定です。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していた「やわたはま国際MTBレース2021（にせんにじゅういち）」については中止とし、そのかわりに日本自転車競技連盟から打診のあった「第34回全日本自転車競技選手権大会」クロスカントリ部門の大会を11月20日、21日に、本市で初めて、開催する予定です。

次に、本市財政の歳入の根幹をなす普通交付税についてですが、8月3日、総務省より公表がありました。今年度の普通交付税は、新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅な減収となる中、令和3年度地方財政計画において一般財源総額が確保されたことで、地方交付税総額は前年度を9,000億円上回る5.2%増の17兆4,000億円となり、県内20市町の普通交付税の平均も5.5%の増となりました。

本市の普通交付税額は、前年度から3億4,515万7千円、5.1%増の71億3,133万4千円となり、3年連続増となりました。さらに、交付税の不足分を穴埋めする臨時財政対策債の発行可能額を加えた実質的な交付税総額では、76億2,437万

5千円、前年度比4億4,689万9千円、6.2%の増となっています。

普通交付税の算定の基礎となる人口は、5年に一度実施される国勢調査人口が使用されることとなっており、今年度の普通交付税は、令和2年に実施された国勢調査結果が反映される初年度となります。国勢調査によると、本市の人口の速報値は、5年前の平成27年に比べ2,956人、8.46%減の31,995人となりましたが、結果として普通交付税が増加したことに安堵しているところです。

本市の交付税が増額となったのは、市税が令和2年度決算で前年度比4,740万1千円減少したことなどによる基準財政収入額の減、人口急減補正の拡充、交付税措置の高い起債の元利償還開始に伴う交付税算入額の増などによる基準財政需要額の増等が要因と考えられます。

しかしながら、人口急減補正は、国勢調査の人口が急激に減少した地方団体の交付税を一度に減らさないようにするための激変緩和措置であり、最終的には今後5年間で段階的に縮減されることから、交付税依存型の財政構造を抜本的に見直していく必要があります。

今後の財政運営においては、常にこのことを念頭に置き、毎年度の予算編成においては、経費の抑制を徹底するとともに、投資的事業に充てる財源については補助金や交付税措置のある有利な起債を活用するなど、市の実質的な負担が極力少なくなるよう厳しい精査に努めてまいります。

それでは、今回提案の9月補正予算の主なものについて、順次ご説明します。

最初に「**新型コロナウイルス感染症対策**」についてであります。

本市では収穫期の労働力の多くを県外アルバイトに頼っていますが、今年の秋も長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、県外からのアルバイト確保が難しい状況となっています。

このため、今年度もJAにしゅうわ及び農家等に対して、共選等の感染症対策及びみかんアルバイト雇用支援等に要する費用の補助を行います。

次に「**安全安心なまちづくり**」についてであります。

本市では、市民の皆さんが、安全で安心して暮らせる生活環境の整備を図るため、地区で新たに設置又はLEDへ交換する防犯灯に対して、1基につき2万円を限度に補助しています。近年の省エネ、CO2削減による地球温暖化防止に対する関心の高まりもあって、LEDへの交換申請が毎年増加傾向にあります。LED防犯灯の普及は夜間における犯罪等の抑止につながるほか、SDGs達成に向けた施策であることから予算を

追加計上しています。

また、消防団員の安全を確保し、公務災害を防止するため、消防団員等公務災害補償等共済基金からの助成金を活用し、各分団の防火服を計画的に更新していきます。

次に「暮らしやすいまちづくり」についてであります。

まず、移住・定住対策についてです。

市外からの移住を促進し、人口減少抑制の一助とするため、市営住宅の空き部屋を活用し、「お試し移住体験住宅」を整備します。この事業は、移住を検討される方が移住後の暮らしを具体的にイメージできるよう、一定期間、本市で実際に生活していただくというもので、既存制度の「移住体験オーダーメイドツアー」と組み合わせ、体験者の希望に応じて、施設見学などのアテンドもする予定です。

また、若者や子育て世代にとって良質な住宅の供給拡大を図るため、今年度、「民間賃貸住宅整備促進補助金」を創設しましたが、好評により既に5件の認定を行っています。そのほかにも相談を受けている案件がいくつかあり、今後、予算を上回る申請があると見込まれることから、今回、予算を追加計上しています。

次に、スポーツ・文化の振興です。

ゆめみかん自主事業として、昨年度、市民文化活動センターで開催した愛媛オールスターズJAZZフェスティバルin八幡浜を、今年は12月5日にゆめみかんで開催する予算を計上しています。なお、公演の様子は南海放送ラジオ番組をはじめ、県内CATV各局で放送される予定です。

また、ゆめみかん駐車場整備事業は、アスベスト含有量調査の結果により必要となった、中央公民館保内別館解体に係るアスベスト除去費用等について予算を計上しています。

市民文化活動センター駐車場拡張事業は、新たに隣接する土地の購入が可能となったため、現計画を変更し一体として整備することで、駐車台数の確保と利用者の利便性向上を図るための予算を講じています。

このほか、マイナンバー制度を活用して、自分の検診結果を閲覧できるようにするための「検診情報連携システム整備事業」、学校施設長寿命化計画に基づく「愛宕中学校体育館長寿命化改良事業」などの予算を計上しています。

次に「産業振興の取り組み」についてであります。

本年10月、松山三越が地域百貨店としてリニューアルオープンします。地階は、東京都内でこだわりの旬の食材を全国からセレクトして販売する、人気スーパーマーケット「福島屋」が運営する食品マーケット「セントラルマーケット」として生まれ変わり

ます。その場所で、11月2日から14日まで「やわたはま物産と観光フェア」が開催されます。このフェアを通じて、八幡浜の魅力と元気を発信し、交流人口の増加ならびに経済活動の促進を図るほか、八幡浜全体のプロモーションを行うことにより、新たなビジネス機会の創出や商品のブランディングにも貢献できることから、フェアの運営を行う「やわたはま物産と観光フェア実行委員会」に対し、開催に係る経費の一部を助成します。

なお、各種のイベントにつきましては、今後のコロナウイルス感染症の状況次第では開催の可否について、適切に判断していく必要があると思っています。

次に「その他の取り組み」についてであります。

総務省の「地域活性化起業人派遣制度」を活用し、11月1日から最大3年間、株式会社ジャルセールスから観光部門の職員1名を受け入れます。水産港湾課に配属し、まずは、現在のフェリー乗り場周辺の跡地利用整備の策定・推進を主要な任務としながら、販路開拓や観光振興の分野でも、民間企業で培った専門知識や人脈、民間ならではの経営感覚やスピード感覚を活かし、地域活性化のために貢献していただけるものと期待しています。

以上が、9月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計	1億8,580万	円の追加
特別会計（4会計）	1億9,080万4千円	の追加
企業会計（2会計）	1,560万2千円	の追加
合計	3億9,220万6千円	の追加を、ご提案申し上げるものです。

これらの財源としましては、前年度繰越金、地方交付税をはじめ、国支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を計上しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。